

法吉団地のお客様各位

2022年5月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
さて、原料費調整制度(2021年9月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

① 基準平均原料価格 67,170 (円/t) (供給約款より)

② 実績平均原料価格 115,540 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP) 2022年3月 895.0 (\$/t) 2022年4月 為替レート(TTS) 119.53 (円/\$)

2022年4月 940.0 (\$/t) 2022年4月 米国産物流経費 105.00 (\$/t)

2ヶ月平均 917.5 (\$/t) 2022年4月 輸送運賃 8,400 (円/t)

米国産原料価格(MB) 2022年3月 742.0 (\$/t) ※JGE 中東フレート

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned} \text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 917.5 \times 119.53 \times 0.7 + (742.0 + 105.00) \times 119.53 \times 0.3 + 8,400 \\ &\doteq 115,540 \text{ (円/t)} \end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

原料価格変動額(100円未満切り捨て) = 実績平均原料価格 - 基準平均原料価格

今月の原料価格変動額 = 115,540 - 67,170 = 48,370 → 48,300 円

3. 従量料金単価調整額の算定

原料価格変動額100円につき従量料金単価を1立方メートル(m³)あたり0.210円調整いたします。

$$\frac{0.21}{100} \times \frac{48300}{100} \times 110\% = 111.5730 \doteq 111.57 \text{ 円}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。

ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. 法吉団地の料金表(料金は全て税込表示)

法吉団地

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m ³	896.50	519.86	631.43
B群 8.1~30.0m ³	1,705.00	418.79	530.36
C群 30.1m ³ 以上	4,400.08	328.95	440.52

法吉団地のお客様各位

2022年6月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
さて、原料費調整制度(2021年9月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

① 基準平均原料価格 67,170 (円/t) (供給約款より)

② 実績平均原料価格 118,830 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP) 2022年4月 940.0 (\$/t) 2022年5月 為替レート(TTS) 126.98 (円/\$)

2022年5月 850.0 (\$/t) 2022年5月 米国産物流経費 105.00 (\$/t)

2ヶ月平均 895.0 (\$/t) 2022年5月 輸送運賃 9,600 (円/t)

米国産原料価格(MB) 2022年4月 674.0 (\$/t)

※JGE 中東フレート

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned} \text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 895.0 \times 126.98 \times 0.7 + (674.0 + 105.00) \times 126.98 \times 0.3 + 9,600 \\ &\doteq 118,830 \text{ (円/t)} \end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

原料価格変動額(100円未満切り捨て) = 実績平均原料価格 - 基準平均原料価格

今月の原料価格変動額 = 118,830 - 67,170 = 51,660 → 51,600 円

3. 従量料金単価調整額の算定

原料価格変動額100円につき従量料金単価を1立方メートル(m³)あたり0.210円調整いたします。

$$\frac{0.21}{100} \times \frac{51600}{100} \times 110\% = 119.1960 \doteq 119.19 \text{ 円}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。

ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. 法吉団地の料金表(料金は全て税込表示)

法吉団地

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m ³	896.50	519.86	639.05
B群 8.1~30.0m ³	1,705.00	418.79	537.98
C群 30.1m ³ 以上	4,400.08	328.95	448.14

法吉団地のお客様各位

2022年7月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
さて、原料費調整制度(2021年9月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

- ① 基準平均原料価格 67,170 (円/t) (供給約款より)
② 実績平均原料価格 112,070 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP)	2022年5月	850.0 (\$/t)	2022年6月	為替レート(TTS)	129.81 (円/\$)
	2022年6月	750.0 (\$/t)	2022年6月	米国産物流経費	105.00 (\$/t)
	2ヶ月平均	800.0 (\$/t)	2022年6月	輸送運賃	10,400 (円/t)
米国産原料価格(MB)	2022年5月	639.0 (\$/t)		※JGE 中東フレート	

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned} \text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 800.0 \times 129.81 \times 0.7 + (639.0 + 105.00) \times 129.81 \times 0.3 + 10,400 \\ &\doteq 112,070 \text{ (円/t)} \end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額(100円未満切り捨て)} &= \text{実績平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ \text{今月の原料価格変動額} &= 112,070 - 67,170 = 44,900 \rightarrow 44,900 \text{ 円} \end{aligned}$$

3. 従量料金単価調整額の算定

$$\frac{0.21}{100} \times \frac{44900}{100} \times 110\% = 103.7190 \doteq 103.71 \text{ 円}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。
ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. 法吉団地の料金表(料金は全て税込表示)

法吉団地

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m ³	896.50	519.86	623.57
B群 8.1~30.0m ³	1,705.00	418.79	522.50
C群 30.1m ³ 以上	4,400.08	328.95	432.66